

日頃の備え(共助)

自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

■ 平常時の活動

作ろう、参加しよう、育てよう!

大きな災害では、行政や関係機関の対応に時間がかかることがあります。個人や家族の力だけでは限界があります。

日頃の付き合いがある隣組や自治会などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。



みんなで学ぼう!

防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。災害が起こったときに予想される事態や対応について話し合きましょう。



訓練をしよう!

いざというときに正しい行動が取れるように、災害の発生を具体的に想定した防災訓練を定期的に行いましょう。

- 消火器の使い方
- 心肺蘇生法(心臓マッサージの方法、AEDの使用方法)



地域を点検しよう!

地域の皆さんで事前に確認しましょう。

- 消火栓の上や防火水槽の近くに、違法駐車や放置自転車などの障害物はありませんか?
- 避難所を皆さんが知っていますか?
- 避難経路に危険な場所はありませんか?



■ 災害時の活動

- 初期消火活動 火が天井にまわるまでには消火器などを用いた初期消火が可能。
- 避難誘導 高齢者や障がいがある方々などへの避難支援。
- 救出・救助 被災者の救出。救護所への搬送。
- 情報の収集・伝達 災害に関する正しい情報の収集とその伝達。
- 避難所の管理・運営 水や食料などの配給、炊き出しなどの給食・給水活動。



災害時特に配慮を要する方々への支援

障がいのある方など、災害時特に配慮を要する方々は、災害発生時の対応に地域の皆さんの支援が必要になります。地域で協力し合いながら、安否確認、避難所への移動、避難生活の支援をしましょう。

高齢者や病気の方

お年寄りや子ども、病気の方などは、早めの避難が必要です。みなさんと協力して避難しましょう。



体の不自由な方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で! 昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。



耳の不自由な方

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらいゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。

